

ボランティア・NPO 活動センター通信は、龍谷大学教職員の皆さん向けに、ボランティア・NPO活動センターの活動をご紹介します情報紙です。教職員の皆さんにボランティア・NPO活動センターの活動を知っていただきたい。ボランティア活動に参加していただきたい。そんな思いを込めて制作しています。ぜひ、ご一読ください。

第2回 平成28年熊本地震 復興支援ボランティア活動報告

活動日：2016年11月25日（金）～11月28日（月）

参加者：30名、引率者4名

活動場所：熊本県阿蘇市坂梨地区

活動概要：活動初日は、活動を始める前に、阿蘇YMCAの山田館長の案内で阿蘇の被災状況を視察しました。テレビなどのメディアを通したのではなく、実際の甚大な被害の様子を目の当たりにして衝撃を受けていました。

今回の主な活動は、阿蘇市坂梨地区にある岡田さんのビニールハウスでの農業支援ボランティアでした。岡田さんはいちご農家で、4月には地震でいちごの棚が倒れて被害を受け、10月の噴火で火山灰がビニールハウスの中に大量に降り注いでしまったため、いちごの生育に深刻な影響が出てしまったそうです。学生たちは高設栽培の下に溜まっている火山灰を取り除く係、台の周りにこびりついて固まった火山灰をそぎ落とす係、台の隅っこの方に溜まっている火山灰を歯ブラシで丁寧に取り除く係、皆が集めた火山灰をビニールハウスの外に運び出す係等に分かれて、協力し合いながら作業を行いました。

ゴーグルに防塵マスクという息苦しくなる装備の上に、中腰での作業という、体力的にはなかなか厳しい作業になりました。12アールもの広さがあるビニールハウスを見て、学生は当初、「これは無理だ」と思ったそうです。それでもみんな励ましあいながら必死で活動して、なんとかビニールハウス全体の清掃をほぼ済ませることが出来ました。依頼主の岡田さんからは作業の合間に、被災当時のお話を聴いたり、手作りのトマトジュースやドライいちごのクッキーを差し入れていただきました。岡田さんの想いを受取った学生達はなかなか作業をやめず、「あともう少し、もう少し…」とギリギリまで頑張っていました。

学生達は、帰京後もLINEを通じて、岡田さんと交流を深めています。

一番下の写真は、学生達が手入れした畑に実った一番最初のいちごで、岡田さんが送って下さったものです。



【第2回 平成28年熊本震災復興支援ボランティア活動報告会を実施】

12/16（金）に深草、19（月）に瀬田で活動報告会を開催しました。学生、教職員、一般の皆さん等、両キャンパス合わせて約100名の方に参加していただきました。

まず、参加者全員に活動内容をコンパクトにまとめた5分のショートムービーを見てもらった後、7つのグループに分かれてもらい、そこにボランティアに参加した学生が入って、それぞれのグループで、参加者に活動内容や活動中に感じたことなどを報告しました。学生たちは、身振り手振りを加えながら一生懸命自分の想いを伝えていました。「学生の想いがよく伝わってきた」と好評でした。

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



瀬田キャンパス 2号館多機能教室
1・2にて開催！

329名に来場いただきました。

- ①ボランティア・NPO活動センター紹介
- ②様々なボランティア紹介
- ③ボランティアサークルの紹介
- ④災害ボランティアの紹介

★学生の声★

来場者がボランティアに興味や関心を持てるように、ボランティアの魅力や多様性を感じてもらえるような啓発ができました。「自分の特技、得意分野もボランティアになると知った」「ボランティアにもいろんな形があることを知った」という来場者の声があり、やった甲斐がありました。

瀬田 ボランティアの形 ～今の私にできること～

■ 日 時 10月29日（土）10:30～17:00
10月30日（日）10:30～17:00

第94回 龍谷祭 活動報告



タンドリーチキン販売！
600セットを販売

深草 ボラセンGO

～今日からひろがるボランティアの世界～

■ 日 時 11月4日（金）10:00～17:30
11月5日（土）10:00～17:30
11月6日（日）10:00～14:30



★学生の声★

来場者は学生よりも一般の方（子どもを含む）が多く幅広い年齢層だった。活動の際に使用したグッズの体験コーナーが高い評価を受けたことから、体験型の説明の効果が高かった。今後も体験コーナーやコーディネートブースなどを展示に取り入れるなど、新しい試みにチャレンジしていきたいです。

とん汁を販売。利益は福島で活動している「はみんぐBird」と「熊本県」の義援金に



深草キャンパス 22号館107教室にて開催！

842名にご来場いただきました。

①ボランティア活動の紹介や参加方法、ボランティア募集团体の設立背景や活動内容、実際に参加した人の体験談を写真等を使って展示。
②会場内にボランティア紹介ブースを設け、展示を見て「ボランティア活動を行ってみたい」と希望する来場者に対して、ボランティアのコーディネートを行った。

学生スタッフの様々な活動の中から一部を紹介しています。ボランティア・NPO 活動センターへお気軽にお立ち寄り下さい。

学生スタッフ企画活動報告

ボランティア・NPO 活動センターでは、学生スタッフが教職員とともにボランティアコーディネートやボランティアの啓発・促進のための企画・運営などの活動をしています。現在、深草・瀬田キャンパス合わせて、約 120 名の学生スタッフが活動しています。

「こどものまちおおつ」への協力

11/12(土)、11/13(日)

大津市立皇子が丘公園体育館で開催された「こどものまちおおつ」にボランティアとして 34 名の龍大生が参加しました。2 日間で、のべ 1,200 名以上の子ども・ご家族が参加！「手話の館」、「サイエンスラボ」、「マジック&ジャグリング」等 5 つの体験ブースを出展し、大盛況でした！龍大生も子どもたちも笑顔あふれる 1 日となりました。



「子どもミュージアム商店街 in 石山商店街」への協力

1 1/26(土)

「子どもミュージアム商店街」とは、商店街で子どもたちに本物の仕事を体験してもらう、商店街を舞台にした体験型のプログラムです。石山商店街（大津市）で開催されたこのイベントに 21 名の龍大生がボランティアとして参加！龍大生は、167 名の子どもたちを体験するお店まで引率し、体験している子どもたちを見守ったり、一緒に体験したりしました。



児玉 小枝 ～ちいさな ‘いのち’ のものがたり 写真展 11/22 (火)～11/25 (金) 和顔館ギャラリー・11/29 (火)

学生スタッフ（深草）の中で、動物たちの問題を考えていって集まって作った STAR というグループが、ペットブームの陰にどのような課題があるのかを伝えるために、動物フォトエッセイスト

児玉 小枝氏の写真展と共に、学生スタッフが取材してきたレポートと写真を和顔館の展示スペース 22-107 教室で展示報告しました。271 名に会場していただきました。



防災意識を高めよう！こんな時、あなたならどうする 12/13(火)和顔館 B108 教室

本学で実施した東日本大震災復興支援ボランティアに参加した学生スタッフが中心となって作った、“Oh！

ガッツ！！雄勝♪”というグループが、災害を「自分事」として考えてもらおうと、政策学部の石原凌河先生に協力を得て地域防災をゲーム形式で学ぶ“防災クロスワード”を企画しました。当日は 25 名が参加し、白熱した議論になっていました。



「笑顔の向こう側～子どもの貧困×ボランティア～」

12/13(火)～1/16

この企画は、「子どもの貧困」について事前・事後学習で学び、実際に支援団体でボランティア活動を行うことによって、「子どもの貧困」への関心を高め、理解を深めるために学生スタッフが企画しました。まず、12/13 (火)に事前学習会を行い、龍大生 31 名が参加。「子どもの貧困」について基礎を学んだり、実際に取り組んでいる団体をお招きし、お話を伺いました。次に 12/14 (水)～1/14 (土)に子ども食堂や学習支援の活動を 5 か所体験



しました。最後に、参加学生で、1/16 (月)にふりかえりワークショップを行い、体験で感じたことや、「私たち大学生にできる取り組み」について意見交換をしました。身近にある社会問題に関心を寄せ、「子どもの貧困」という課題について当事者性を持って考えることができる龍大生が増えたことが、本企画の大きな成果でした。

春季体験学習プログラム実施します

■海外体験学習プログラム

①－台湾－「台湾の自然、歴史と市民活動～学生、市民との交流から考える～」

2月24日（金）～3月1日（水）

政策学部の北川 秀樹教授の企画引率で、台湾の近代史を現地で学びながら、地元の大学やNGO 団体との交流を通して、台湾についての理解を深めます。

②－インド共和国－「農村開発の取り組み &子どもたちとふれあう旅」

3月3日（金）～3月13日（月）

アーシャ＝アジアの農民と歩む会が企画するインドスタディツアーに参加し、保健活動のフィールドワーク等を体験します。

③－タイ王国－「インド洋大津波被災地で東日本大震災6年目を迎える」

3月7日（火）～3月15日（水）

ツナミクラフトが企画するスタディツアー。2004年インド洋大津波でタイ最大の被災地となったナムケム村滞在、コミュニティベースドツーリズム等を体験します。



■国内体験学習プログラム

①－福島－「～福島の“今”を見、福島を生きる人々の“言葉”を聴き、

そして“自分”を見つめる～」 2月24日（金）～2月28日（水）

社会学部の筒井のり子教授の企画引率で福島スタディツアーを行います。地元のNPO や福祉団体、仮設住宅、農家などを訪問し、福島の“今”を見つめ、そこに生きる人々の言葉を受け止め、自分自身の問題として福島について考えます。



②－福井－「ふくいエコ・ツーリズム体験」

2月25日（土）～2月28日（水）

NPO 法人 森林楽校・森んこ代表 萩原茂男さん、公益社団法人ふくい農林水産支援センター都市農村交流コーディネーター萩田英爾さんのコーディネートで、都会では味わえないエコ・グリーンツーリズムを体験します。



※ボランティア・NPO 活動センターの実施する体験学習プログラムは、学生が、該当地域の地域住民やNPO/NGOとの交流を通じて、国内外におけるその地域の抱える課題や解決に向けた取り組みに触れ、その地域でボランティア等の体験学習を行うことにより、より深く社会の問題について考え、その問題解決に向けて自身の問題として考えるきっかけを作ることを目的としています。



Volunteer NPO Center News Letter

ボランティア・NPO活動センター通信 No28

Volunteer NPO Center News Letter は
年4回発行。次回は4月に発行します。
バックナンバーは <http://www.ryukoku.ac.jp/npo/> を
ご覧ください。

発行責任者：龍谷大学ボランティア・NPO活動センター センター長 松永 敬子
ホームページ：<http://www.ryukoku.ac.jp/npo/>、E-mail: ryuvnc@ad.ryukoku.ac.jp
SNS: Facebook: 龍谷大学ボランティア・npo 活動センター Twitter: @ryuvnc
深草キャンパス: 〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町 67
内線 1490、Tel: 075-645-2047 Fax: 075-645-2064
瀬田キャンパス: 〒520-2194 大津市瀬田大江町横谷 1-5
内線 7252、Tel: 077-544-7252 Fax: 077-544-7261